

鎌倉市ごみ処理基本計画中間見直し（素案）	意見等の概要	考え方・対応
<p>1 家庭・地域に対する働きかけ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大型なバイオシステムは地域エゴなど過去の経緯からも解決が難しいので小型化の方が理解しやすいです。 ・生ごみは家庭で処理出来るごみです。各自、家庭で取り組むことは大賛成です。キューロを使っていますが、これは電気を使用せず臭いもほとんどでない上、虫もわからない、とても優れたものです。 ・生ごみは家庭で処理できるごみです。各自、家庭で取り組むことは大賛成です。 ・生ごみは家庭で処理できるごみです。各自が家庭で取り組むことは大賛成です。全体のごみを減量化に向けて努力すべきと思います。 ・生ごみを減量すべきです。そのためには家庭用生ごみ処理機のさらなる普及をはからなくてはなりません。 ・生ごみは家庭で処理できるごみです。各家庭で取り組むことは大賛成です。 ・これ以上税金をつかった大きな事業は止めてください。各家庭で処理をしていく事を進めて欲しいです。生ゴミは手動のものです。園芸用の土を入れて混ぜるだけで処理しています。大きな処理場を作るより、各家庭で出来ることをする、そんな市になってほしいです。その分税金をさげてください。 ・減量化対策に疑問を感じます。有料化で 3,700 t、分別で 2,500 t。生ごみを収集しないことで 7,100t。布団等新たな処理は 1,000 t だけです。 家庭で生ごみを処理するのは無理だと断言します。ごみ処理の経費や手間を市民や事業者に移すことではないでしょうか。 ・家庭用生ごみ処理機の普及は一定の普及水準を超えるのは難しいと思います。普及啓発を粘り強く地道に継続することが求められます。 ・生ごみ処理機のさらなる普及については「生ごみ処理機を購入する場合、市役所に行けば助成金額がマイナスされた金額で直購入できる」といった単純な手続きでないと普及は難しいと思います。 ・ごみの減量のためコンポストを以前購入しましたが、継続的に使うことはとても難しいと実感しました。電動のものについては、電力の問題とスペースの問題もあります。コンポストも電動型も広い敷地と台所が必要だと思います。 ・大きな建築物を作るくらいなら、希望者に家庭用生ごみ処理機を無償貸与したほうが良いと思います。 ・費用対効果を再検討して、各家庭でのコンポスト等を使った処理をもっと推進したほうが良いと思います。 ・市長が推奨しているキューロは冬の間は生ごみはほとんど分解せず、このような不安定なものを市の助成で普及させるのはいかがなものでしょうか。自宅でコンスタントに生ごみ処理を続けることが重荷になり、持続できない事情はどの家庭でも起こることで、17万都市の適切なごみ処理事業とは思えません。 	<p>ごみを減らすためには、市民、事業者、行政等の各主体が環境負荷軽減の必要性を認識し、それぞれの役割を担い、自ら率先して取り組むことが必要です。</p> <p>市民一人ひとりができる範囲で、家庭等でのごみの発生抑制や減量に努めていくことが、循環型社会を構築する上で不可欠なため、市民の皆様の協力、理解をお願いしたいと思います。</p> <p>また、生ごみ処理機の補助制度の周知や、導入のメリット、正しい利用方法など、生ごみ処理機の普及を進めるにあたって必要な情報をこれまで以上に工夫しながら市民に提供してまいります。</p>

<p>・各家庭に負担を強いる「生ゴミ処理方式」では想定している成果は期待できません。</p>	<p>・各家庭に負担を強いる「生ゴミ処理方式」では想定している成果は期待できません。</p>	<p>ごみを減らすためには、市民、事業者、行政等の各主体が環境負荷軽減の必要性を認識し、それぞれの役割を担い、自ら率先して取り組むことが必要です。</p>
<p>・マンションでの生ゴミ処理機は条件的に難しく、忙しいなか処理はできません。事業者の生ゴミを分別して集め、資源化するのであれば、市民の生ゴミも同じように集めてください。</p>	<p>・マンションでの生ゴミ処理機は条件的に難しく、忙しいなか処理はできません。事業者の生ゴミを分別して集め、資源化するのであれば、市民の生ゴミも同じように集めてください。</p>	<p>市民一人ひとりができる範囲で、家庭等でのごみの発生抑制や減量に努めていくことが、循環型社会を構築する上で不可欠なため、市民の皆様の協力、理解をお願いしたいと思います。</p>
<p>・町内会を通して生ゴミの家庭内処理の実験計画があるようですが、コンポストは小蠅が大量発生しますし、節電がもとめられている中で電動処理機を使うのは非常識です。助成金も税金です。実験の結果使わなくなった処理機は大量のごみになります。その後の処理はどうするのですか。</p>	<p>・町内会を通して生ゴミの家庭内処理の実験計画があるようですが、コンポストは小蠅が大量発生しますし、節電がもとめられている中で電動処理機を使うのは非常識です。助成金も税金です。実験の結果使わなくなった処理機は大量のごみになります。その後の処理はどうするのですか。</p>	<p>また、生ゴミ処理機の補助制度の周知や、導入のメリット、正しい利用方法など、生ゴミ処理機の普及を進めるにあたって必要な情報をこれまで以上に工夫しながら市民に提供してまいります。</p>
<p>・各家庭で生ゴミを電気焼却することは、国家的要請に逆行します。市の責務であるゴミの処理を各家庭に押し付けるべきではないし、現実的にも処理場の能力を家庭で代替することは不可能です。</p>	<p>・各家庭で生ゴミを電気焼却することは、国家的要請に逆行します。市の責務であるゴミの処理を各家庭に押し付けるべきではないし、現実的にも処理場の能力を家庭で代替することは不可能です。</p>	
<p>・生ゴミを各自で処理することは理想論で、実際には各家庭で様々な事情があり不可能だと思います。市の責任において収集し、資源化する計画に戻してほしいと思います。</p>	<p>・生ゴミを各自で処理することは理想論で、実際には各家庭で様々な事情があり不可能だと思います。市の責任において収集し、資源化する計画に戻してほしいと思います。</p>	
<p>・私自身は節電を考え、電動処理機の使用は控えています。市民が生ゴミを分別して出し、市が収集し資源化する計画に戻してほしいと思います。</p>	<p>・私自身は節電を考え、電動処理機の使用は控えています。市民が生ゴミを分別して出し、市が収集し資源化する計画に戻してほしいと思います。</p>	
<p>・各家庭で生ゴミ処理機で処理をするという素案はおかしいです。処理機で出るかすの処理方法、処理機の故障時の市の対応等考えているか疑問です。</p>	<p>・各家庭で生ゴミ処理機で処理をするという素案はおかしいです。処理機で出るかすの処理方法、処理機の故障時の市の対応等考えているか疑問です。</p>	
<p>・高齢者の一人暮らしでは生ゴミはほとんどありません。冬は庭に埋めるので処理機はむしろ無駄だと思っています。</p>	<p>・高齢者の一人暮らしでは生ゴミはほとんどありません。冬は庭に埋めるので処理機はむしろ無駄だと思っています。</p>	
<p>・家庭での生ゴミ処理は難しいところがあると思う。</p>	<p>・家庭での生ゴミ処理は難しいところがあると思う。</p>	
<p>・生ゴミ処理機による処理方法では、マンション住まいが多くなった今、なかなか難しく、高齢家庭ではより簡単な方法が求められていると考えます。</p>	<p>・生ゴミ処理機による処理方法では、マンション住まいが多くなった今、なかなか難しく、高齢家庭ではより簡単な方法が求められていると考えます。</p>	
<p>・生ゴミ処理機を購入しましたが、臭い、メンテナンスの手間などから継続することは難しいと思います。このように個人任せの方法で今泉の焼却炉を止め、名越の焼却炉延命をさせることはできないと考えます。大型生ゴミ処理機の導入にも反対です。臭い、メンテナンス、音などで設置場所が確保できない可能性が大きいと思います。</p>	<p>・生ゴミ処理機を購入しましたが、臭い、メンテナンスの手間などから継続することは難しいと思います。このように個人任せの方法で今泉の焼却炉を止め、名越の焼却炉延命をさせることはできないと考えます。大型生ゴミ処理機の導入にも反対です。臭い、メンテナンス、音などで設置場所が確保できない可能性が大きいと思います。</p>	
<p>・家庭でのゴミ処理は長続きが難しく、手間がかかるものでもあり、安定的な削減は見込めません。電動乾燥型は集合住宅では騒音の問題もあり、使用は一部に限られます。また節電を考えなければならないこの時期に電動型はいかがなものでしょうか。大型生ゴミ処理機も電気を使用すること、管理やメンテナンスの問題があつて、地域やマンションにすべてお任せするのは負担の押し付けではないでしょうか。高齢化が進み、戸建てよりマンションが増えた鎌倉市に、この削減案では達成が見込めません。</p>	<p>・家庭でのゴミ処理は長続きが難しく、手間がかかるものでもあり、安定的な削減は見込めません。電動乾燥型は集合住宅では騒音の問題もあり、使用は一部に限られます。また節電を考えなければならないこの時期に電動型はいかがなものでしょうか。大型生ゴミ処理機も電気を使用すること、管理やメンテナンスの問題があつて、地域やマンションにすべてお任せするのは負担の押し付けではないでしょうか。高齢化が進み、戸建てよりマンションが増えた鎌倉市に、この削減案では達成が見込めません。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系ごみ減量資源化による推計の考え方では、市民アンケートに基づき生ごみ処理機普及率の大幅増加を見込んでいます。市民の善意に依拠した推計は施策の根拠にはなり得ないと考えます。 	<p>ごみを減らすためには、市民、事業者、行政等の各主体が環境負荷軽減の必要性を認識し、それぞれの役割を担い、自ら率先して取り組むことが必要です。</p> <p>市民一人ひとりができる範囲で、家庭等でのごみの発生抑制や減量に努めていくことが、循環型社会を構築する上で不可欠なため、市民の皆様の協力、理解をお願いしたいと思います。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、事業者への啓発によって達成し得る計画、具体的施策は実現性、実効性に乏しいと言わざるを得ないです。高齢化する鎌倉市民、子育てをしながら男女とも就労する多忙な市民が自宅でのくらいごみ処理をできるでしょうか。各家庭用ごみ処理機普及の目標数字もいわば努力目標で確実なものではありません。 	<p>また、生ごみ処理機の補助制度の周知や、導入のメリット、正しい利用方法など、生ごみ処理機の普及を進めるにあたって必要な情報をこれまで以上に工夫しながら市民に提供してまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・22年の生ごみ処理機についてのモニターでは、処理機について問題提起はなかったのでしょうか。問題は把握されて改善されているのでしょうか。我が家では5年前に処理機を購入したが、電気代、作動音、煩わしさ、処理機本体の発熱、腐臭、堆肥の活用がないなどの問題から使用しなくなった経過がありますが、処理機は改善されているのでしょうか。市の助成で購入した人が、はたして有効に使っているのか危惧しています。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・15年も前から、「ごみ半減都市宣言」などを行い、市民と一緒に、ごみ問題に取り組んで来て、その間、家庭用生ごみ処理機の普及にも力を入れ今日に至っています。とはいえ、普及率を29.5%（21,400台）まで上げるという、今回の市長の言う目標は余りにも現実離れしていると思います。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみの減量にはこれまで努力をしてきましたが、努力にも限界があります。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみを削減するには生ごみ処理機を購入に頼らずに個人が生ごみを出さないようにするという意識をもって生活することが大切です。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用生ごみ処理機の各家庭への導入をすすめます。展示だけではアピール不足なので広報や環境ニュースなどで助成金のことをアピールし、実際に利用している人の感想を伝えていくことが必要です。台所で調理をしながら生ごみを処分できる便利さを考えると大型生ごみ処理機を各地区に設置することにはあまり同意できません。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が生ごみを処理することはリスク分散の理にかなっています。中規模施設を町内会や自治会単位で実施するのも有効と考えています。高齢者や障害者等、分別を細かく行うのが難しい人に対する対応についてもいくつかの案を考えて周知することで生ごみを各家庭で処理することを成功させるものになると考えます。(他、同意見9件) 	

<p>・家庭用生ごみ処理機の購入費補助制度は周知されていますでしょうか。コンポストを2個購入し自家処理をしています。その後さらに追加の2個や防虫、防臭剤については自己負担です。ごみ減量に協力しているものに対する何等かのご褒美があったらいいと思います。ごみの意見交換会に出席して感じたのは、焼却施設建設後に転居してきた分譲団地や集合住宅の市民の方と焼却施設がない頃を経験している市民との世代の違いを感じます。生ごみの自家処理は虫がわく、埋めるところがない、など自然と共存する、鎌倉の自然の中で居住しているという市民意識の欠如だと思います。市民に対してもっと強く協力してもらうよう啓発が必要です。</p>	<p>・生ごみ処理機のPRとごみの分別をもっと啓発してください。</p>	<p>ごみを減らすためには、市民、事業者、行政等の各主体が環境負荷軽減の必要性を認識し、それぞれの役割を担い、自ら率先して取り組むことが必要です。</p> <p>市民一人ひとりができる範囲で、家庭等でのごみの発生抑制や減量に努めていくことが、循環型社会を構築する上で不可欠なため、市民の皆様の協力、理解をお願いしたいと思います。</p> <p>また、生ごみ処理機の補助制度の周知や、導入のメリット、正しい利用方法など、生ごみ処理機の普及を進めるにあたって必要な情報をこれまで以上に工夫しながら市民に提供してまいります。</p>
<p>・多くの税金を使って建てられたり、運営される生ごみ処理施設を作るより、各自で処理をしている人が多いので何とかその方法でできたらと思います。各地域ごとに生ごみ処理機を設置してシェアして使うとか、各家庭で出来る方法を広めたり、いろいろと試す方法があると思います。</p>	<p>・見直し計画にある生ごみ処理機を試験的に特定の場所で本当に効果的か検証し、大型・小型を使ってみて、良ければ徐々に増やしていったり、周辺の市で実行した結果を自治体同士で意見交換をしてその経験を新しく始めることに生かしてください。</p>	<p>地域で、家庭用生ごみ処理機を使ってもらうモデル事業や、地域で使用する大型生ごみ処理機の設置に取り組んでいくことを計画しています。その中で、取り組みの検証を行うとともに、他市の情報収集を行いながら、効果的な生ごみ処理機の活用を図っていきます。</p>
<p>・家庭用生ごみ処理機の普及に反対はしませんが、電力を使うものには反対です。</p>	<p>・家庭用生ごみ処理機の普及に賛成ですが、電力を使うものには反対です。</p>	<p>東日本大震災以降、電力需給の逼迫に伴う節電対策等が国の最重要課題となっています。家庭用生ごみ処理機、特に電動型の普及にあたっては、電動型のエネルギー消費量や効率的な利用方法に加え、家庭における節電の方法と効果を示して、各家庭のライフスタイル、年齢や住居環境などにあった選択ができるように周知を図ります。</p>
<p>・EM処理は臭い等の問題があったため、電動型を使っていますが節電のため電動処理機はなるべく使いたくないという思いがあります。</p>	<p>・私事ですが、家庭用生ごみ処理機を使い始めて1カ月当たりの電気代が3~4千円値上がりしました。処理機自体がまだエコの完成域にはいたっていないと思います。</p>	
<p>・戸建てに住んでいた時は、ずっとコンポストを使っていましたが、臭いや虫の発生対策に慣れてきた頃に、マンション住まいになってしまいました。自分で出したごみで野菜の土ができる喜びを知り、「何かの役に立っている、小さなプライド」という思いに子供と話が弾んだものでした。電動ごみ処理機は使う気持ちになれません。ごみは自然の力で自然に戻す—電気は極力使わず、自然の力を使いましょう。</p>	<p>・電動生ごみ処理機の普及計画についてですが。我が家では15年間使っていた電動生ごみ処理機が故障し、キエーロに変えて半年ですが、手間はかかるものの電気代もかからずよかったと思っています。知人に勧めるのですが、庭がない家ではメリットがなく大変だと言われます。まして、各家庭で電気を使って処理をする計画など今の情勢のなか時代に逆行しています。23年度237tを27年度には1800tも処理する計画など無謀としか思えません。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者二人生活だと生ごみ処理機は、年末年始や夏場に利用しますが時に長らく使わないこともあります。電力事情を考えると個人宅で生ごみ処理機を使うより大規模施設で処理したほうがいいのではないのでしょうか。 ・電力事情が切迫する状況が長期化することはだれの目にも明らかであり、節電を市民に働きかける行政が、電気を動力とする生ごみ処理機に補助金を出すことは即刻中止し、今後も予算化しないでもらいたと思います。 ・今回の計画停電を契機に電力を必要とする家庭用生ゴミ処理機の使用をやめました。 ・国をあげて節電に取り組まねばならない時に、生ゴミ処理機を買って自宅で処理しなければならないのですか？我が家では、電気を使うことに抵抗があり、ここ3年ほど使っていません。 ・電力事情が逼迫している現在、電動式のゴミ処理機に補助する予算は削除すべきです。 ・生ゴミは家庭から出るゴミの中でも毎週・毎回出るので、少しでも減らす努力をおしませんが、電力不足の中、電気の処理機の使用をやめました。市が、生ゴミを分別収集して、資源化するべきだと思います。 ・家庭用生ごみ処理機の推進は、今の時代電動処理機（電力を使う）をすすめるのは、省電力の点から反対です。 ・電気ごみ処理機は節電のため使用をやめました。 ・旧方式の電動処理機は台所の外に放置されており、もう同じ方法での協力は面倒です。 ・節電もあり家庭用生ごみ処理機を使うのはためらわれます。ごみを減らすといってもそう簡単にできることではないと思います。 ・電力を必要とする家庭用生ごみ処理機を推進は間違っている。 ・節電しなければならない情勢に電動生ごみ処理は再考すべきではないでしょうか。 ・家庭用生ごみ処理機に電動型を使うのは電力不足が懸念される現在は進めるべきではないと思います。非電動型についてはマンションや高齢化率が高い中では普及は期待できません。 ・ごみの問題は毎日の生活に必要不可欠なものであり、第一優先に取り組んでほしいものです。ごみの量（特に生ごみ）を減らすという点では鎌倉市民の意識は高いと思います。私のところでも最初はコンポストを使いましたが、臭いに悩まされ、やめました。次に電動ごみ処理機を市の補助をいただき購入しましたが、購入したタイプのものはおがくずを買わねばならず、またその処理済みのものを処分する場所もだんだんなくなり、結局生ごみの日に出したりすることになり何をしているのかわかりません。また3.11以来節電という問題も重要となりいろいろ総合的に考えると各家庭で電動ごみ処理機を使うというのはよくないと思われます。 	<p>東日本大震災以降、電力需給の逼迫に伴う節電対策等が国の最重要課題となっています。家庭用生ごみ処理機、特に電動型の普及にあたっては、電動型のエネルギー消費量や効率的な利用方法に加え、家庭における節電の方法と効果を示して、各家庭のライフスタイル、年齢や住居環境などにあった選択ができるように周知を図ります</p>
--	--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者も多くなり新しく処理機による市民への負担は、精神的にも経済的にも大変です。原発の事故により電力を節約する点からもゴミ処理機を使用するのは反対です。 ・電力消費を減らさなくてはならないのに、自治会、家庭でのごみ処理は大変無駄になると思います。また、大型処理機を自治会に設置しても管理、清掃はだれの負担になるのでしょうか。 ・震災や原発事故により電力供給の窮状により生活を見直し、電気使用を押さえてはならない時期に電力を必要とする家庭系生ごみ処理機や大型なまごみ処理機など推進する施策は間違っています。 ・現在、自宅で電動生ごみ処理機を使用していますが、震災以来の電力事情を考えると使用に躊躇している状況です。今後、家庭用の電動処理機や紙オムツの資源化など、電力を必要とする計画を推進するのは間違っていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高年齢者も多くなり新しく処理機による市民への負担は、精神的にも経済的にも大変です。原発の事故により電力を節約する点からもゴミ処理機を使用するのは反対です。 ・電力消費を減らさなくてはならないのに、自治会、家庭でのごみ処理は大変無駄になると思います。また、大型処理機を自治会に設置しても管理、清掃はだれの負担になるのでしょうか。 ・震災や原発事故により電力供給の窮状により生活を見直し、電気使用を押さえてはならない時期に電力を必要とする家庭系生ごみ処理機や大型なまごみ処理機など推進する施策は間違っています。 ・現在、自宅で電動生ごみ処理機を使用していますが、震災以来の電力事情を考えると使用に躊躇している状況です。今後、家庭用の電動処理機や紙オムツの資源化など、電力を必要とする計画を推進するのは間違っていると思います。 	<p>東日本大震災以降、電力需給の逼迫に伴う節電対策等が国の最重要課題となっています。家庭用生ごみ処理機、特に電動型の普及にあたっては、電動型のエネルギー消費量や効率的な利用方法に加え、家庭における節電の方法と効果を示して、各家庭のライフスタイル、年齢や住居環境などにあった選択ができるように周知を図ります</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・16ページの家庭系ごみの推移表で「生ごみ資源化量」が平成26～27年度に急増しています。説明として「生ごみ処理機のさらなる普及促進」で実現するとされていますが、生ごみ処理機で処理されたものを堆肥製造業者が引き取らなくては燃やすごみになります。「生ごみ資源化量」に記載する数字は(生ごみ資源化量)－(燃やすごみ還流量)となるのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・16ページの家庭系ごみの推移表で「生ごみ資源化量」が平成26～27年度に急増しています。説明として「生ごみ処理機のさらなる普及促進」で実現するとされていますが、生ごみ処理機で処理されたものを堆肥製造業者が引き取らなくては燃やすごみになります。「生ごみ資源化量」に記載する数字は(生ごみ資源化量)－(燃やすごみ還流量)となるのではないのでしょうか。 	<p>家庭用生ごみ処理機については成果物が発生するものと、成果物が発生しないものとさまざまなタイプのものがあるため、素案では燃やすごみ還流量については見込んでいませんでした。今回、過去の実績をもとに成果物ができるタイプの処理機と成果物が発生しないものを推計し、再度焼却量を計算し素案を修正していきます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機は人によって合う道具にたどりつくまで試行錯誤があります。モデル地区で60台の貸与とありますが、全市で希望者に3カ月の貸与、使えるなら市の補助制度を利用して買い取りをしてもらい、使えそうにない人については回収して次の人に貸し出した方が回転が速く利用が広がると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機は人によって合う道具にたどりつくまで試行錯誤があります。モデル地区で60台の貸与とありますが、全市で希望者に3カ月の貸与、使えるなら市の補助制度を利用して買い取りをしてもらい、使えそうにない人については回収して次の人に貸し出した方が回転が速く利用が広がると思います。 	<p>モデル事業として、各地域に家庭用生ごみ処理機を無償で貸与し使ってもらう取組を実施します。その中で、事業の検証等を行い、効果的なあり方を検討し、普及しやすい環境づくりを図ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機のさらなる普及促進とありますが、生ごみ処理機から発生する堆肥化物や乾燥物の処理物の扱いが一言も触れられていません。生ごみ処理機から発生する堆肥化物や乾燥物等の処理物を燃やすごみ以外としての収集方法の確立と運用方法を盛り込みことを提言します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機のさらなる普及促進とありますが、生ごみ処理機から発生する堆肥化物や乾燥物の処理物の扱いが一言も触れられていません。生ごみ処理機から発生する堆肥化物や乾燥物等の処理物を燃やすごみ以外としての収集方法の確立と運用方法を盛り込みことを提言します。 	<p>生ごみ処理機から発生する堆肥化物や乾燥物の扱いについては、効果的な資源循環の道筋について今後、検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・学校、スーパー、病院、工場、食堂、病院、ホテル等の事業所の生ごみは各施設に処理機を設置してもらおう。家庭用の生ごみについては各小学校区にバイオ式の処理機を設置する。または、中学校区をエコポイント単位としてもよいのではないのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、スーパー、病院、工場、食堂、病院、ホテル等の事業所の生ごみは各施設に処理機を設置してもらおう。家庭用の生ごみについては各小学校区にバイオ式の処理機を設置する。または、中学校区をエコポイント単位としてもよいのではないのでしょうか。 	<p>大型生ごみ処理機については、現在すでに本庁舎、小学校、市営住宅に設置し、小学校の給食残渣などを処理しています。今後は、地域や事業者に協力をいただきながら、民間の集合住宅や事業所での設置を図っていきたく考えています。その中で、利用状況等の調査を行い、普及しやすい環境づくりを図ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大型生ごみ処理機の導入は設置場所や維持管理、電気代の負担が大きく住民合意は困難だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型生ごみ処理機の導入は設置場所や維持管理、電気代の負担が大きく住民合意は困難だと思います。 	<p>その中で、利用状況等の調査を行い、普及しやすい環境づくりを図ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大型生ごみ処理機は生ごみをそこまで運ぶこと、その処理機の維持管理は市民の負担で光熱水費は市の負担とのことですが、27年度までの目標達成が可能なのか、持続可能なのか再考すべきです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型生ごみ処理機は生ごみをそこまで運ぶこと、その処理機の維持管理は市民の負担で光熱水費は市の負担とのことですが、27年度までの目標達成が可能なのか、持続可能なのか再考すべきです。 	<p>その中で、利用状況等の調査を行い、普及しやすい環境づくりを図ってまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・私の住んでいるマンションでは、マンション内の集積所にいつでも置くことができるようになっており、清掃作業員が集積所からクリーンステーションに出しているの、自宅で分別はするものの、決められた日に出さなくてよいため意識が低いです。このようなところに大型生ごみ処理機を設置しても作業員の仕事が増えるだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・私の住んでいるマンションでは、マンション内の集積所にいつでも置くことができるようになっており、清掃作業員が集積所からクリーンステーションに出しているの、自宅で分別はするものの、決められた日に出さなくてよいため意識が低いです。このようなところに大型生ごみ処理機を設置しても作業員の仕事が増えるだ 	<p>その中で、利用状況等の調査を行い、普及しやすい環境づくりを図ってまいります。</p>

	<p>けで住民の意識向上は望めません。また、電気を使用することや性能等も期待できず反対です。</p>	
	<p>・地域での大型生ごみ処理機導入などがあげられていますが、長期的に考えると利用に困難が生じると思われるので反対です。</p>	
	<p>・大型生ごみ処理機の導入に関していくつか問題点があります。①処理機の価格が高額 ②設置場所が制限される ③維持管理費・電気代にかなりの額がかかる。これらの点を踏まえ、太陽光発電蓄電池をセットして付加価値をつけることや、また新規の集合住宅に大型生ごみ処理機の設置を義務付けるなどの方法を考える必要があるのではないのでしょうか。さらに集合住宅で大型生ごみ処理機を設置するよりも、中型でリーズナブルなものがあれば、各階に1～2個設置するか、あるいは外で屋根に太陽光発電をセットし10台ぐらい並べて設置する方が、値段も安く、設置場所も狭くてすむのではないのでしょうか。</p>	<p>大型生ごみ処理機については、現在すでに本庁舎、小学校、市営住宅に設置し、小学校の給食残渣などを処理しています。今後は、地域や事業者に協力をいただきながら、民間の集合住宅や事業所での設置を図っていきたいと考えています。その中で、利用状況等の調査を行い、普及しやすい環境づくりを図ってまいります。</p>